

# 鯨漁場建築～鯨御殿～

北海道・寿都町



鯨御殿といえば、一般的には網元や漁師たちが寝泊りしていた建物をいうが、この建物は、この漁場で「仕込屋」として商売をしていた橋本家の建物。仕込屋というのは、網元や漁師に品物や金を貸し、代金を数の子、身欠鯨、鯨粕等で返済してもらってこれを売る商売であった。

明治の初期、創業者橋本与作は長栄丸、金栄丸など五百石積みの自家弁財船で膨大な利益をあげ、当時で最高級の家を建てたのがこの建物。

自分の出身地（福井県）本家の庄屋宅を模し、全建材を集めるのに3年、建築に4年の歳月をかけ明治12年に完成、総工費は当時で7万円を要したといわれている（大正時代の豪邸で3千円程度）。床下には防湿のため6百俵もの木炭を敷きつめ、窓は当時ギヤマンといわれたガラスをオランダから取寄せるなど、豪華な調度品をそろえ、鯨にわきたつ浜と海の商人の盛時が洩い落ち着きの中にこめられている。

現在は、釘を一本も使用していない建築物の宿「鯨御殿」として営業している。

## TOPICS

- ・かき祭り 5月第3日曜日 開催
- ・おさかな市 6月第1日曜日 開催
- ・特産品：生炊きしらす佃煮、ほっけ飯寿司

## お問い合わせ先

寿都町役場商工観光課

TEL / 0136-62-2511

URL / <http://www.town.lg.jp/>

## 【交通】

バス / 岩内ターミナルからニセコバスで50分

鯨御殿前下車

車 / JR黒松内駅から15分

